

**北大路魯山人** 書家として出発、美食家として名をはせ、食器のために陶芸創作。自由奔放に生き毀譽褒貶。

きたおおじろさんじん

岩倉具視没・1883 = 京都の上賀茂神社の社家に生まれる。父が誕生前に死去していたため、養子に出され、

**帝国憲法発布**1889 = 6歳：離縁されて、木版師福田武造に再養子となる。尋常小学校に入学。

**大本教**・・・1892 = 9歳：

郡司千島探検1893 = 10歳：卒業と同時に、京都烏丸二条の(千坂和楽屋)に丁稚奉公に出される。

**日清戦争始**・1894 = 11歳：

白馬会・・・1896 = 13歳：養家に戻り、画学校入学の希望を打ち明けたが許されず、やむなく家業を手伝ううち、**「書の独学を決意、一字書き」**に応募し、度々入選、

Bushidou・・・1899 = 16歳：流行のペンキ看板により収入を得、その全てを注ぎ込んで**「書の研究に打ち込む」**。

田中正造直訴1901 = 18歳：

日比谷公園・1903 = 20歳：近視のため兵役免除。書家をめざして上京。自らの家系と生母が東京に居ることを知り、訪ねあてたが、冷たくあしらわれて失望。

**日露戦争始**・1904 = 21歳：\***「日本美術展覧会に隷書「千字文」を出品、一等となり、宮内大臣に買い上げられる。」**

**日露戦争終**・1905 = 22歳：京橋の町書家岡本可亭(一平の父)に師事、住み込みの内弟子となる。

**韓国反日暴動**1907 = 24歳：可亭方を辞し、書道教授の看板を掲げる。京都より安見タミを呼び寄せ、看板や版下書などとして生活。

**アヲチ**創刊・1908 = 25歳：タミと結婚。長男誕生。

**伊藤博文暗殺**1909 = 26歳：書看板・篆刻などを業とし、(実業之日本)他諸雑誌の題字を書く。

韓国併合・・・1910 = 27歳：生母とともに、朝鮮ソウルに行き、

大逆事件判決1911 = 28歳：次男誕生。朝鮮の印刷局に勤め、そのかわら、篆刻を習い、古銘碑・古社寺・古美術など見学。

**明治天皇没**・1912 = 29歳：上海に篆刻家を訪ねた後、帰国。京橋で看板・篆刻・習字塾を始める。

大正政変・・・1913 = 30歳：\***「食客として近江長浜に滞在中、京都の富豪で美術品蒐集家内貴清兵衛を知り、出入りする芸術家との交遊が始まり、魯山人の天分が開花していく。洛東清水にこもり、篆刻・習書に精進。」**

**第一次大戦始**1914 = 31歳：書籍商の次女藤井せきと婚約、タミと離婚。

21ヶ条要求・1915 = 32歳：長男を養家の相続人とし、自らは北大路姓に復帰。北陸路を食客をしながら行脚。

民本主義・・・1916 = 33歳：せきと再婚。金沢の懐石料理屋「山の尾」の主人を知り、料理・接待・食器などを学ぶ。

**大正11年条約**・1919 = 36歳：自宅に古美術鑑定所の看板を上げ、京橋に(大雅堂美術店)を開く。

大暴落・・・1920 = 37歳：生母が死去し、家督を相続、魯山人を名乗る。美術店に出入りする客に手料理を出し、好評を得る。

**原敬首相暗殺**1921 = 38歳：同人組織の(美食倶楽部)を発足させ、食通の間で評判となる。

**関東大震災**・1923 = 40歳：関東大震災で(大雅堂美術店)が全焼する。(花の茶屋)を借りて(美食倶楽部)再開し、盛況。

製陶の学習も始め、

治安維持法・1925 = 42歳：東京赤坂山王台に同郷の友中村竹四郎と会員制の高級料亭(星岡茶寮)を開設、顧問兼料理長として天下に**「美食家の名をはせる。また、茶寮内で自らの陶器の習作展を開催。」**

金融恐慌・・・1927 = 44歳：北鎌倉に星岡寮と住居を建設、(魯山人窯芸研究所)発足。荒川豊蔵などを招いて食器の制作に専念する。

共産党事件・1928 = 45歳：中嶋きよと再々婚して、長女が誕生。星岡寮に宮家を迎えたり、日本橋三越で「陶器展」を開催。

以後、百貨店や各地で開催して行く。

海軍軍縮条約1930 = 47歳：古窯を発掘。{(星岡)を創刊。

**満州事変**・・・1931 = 48歳：「古染付百品集」上巻、

五一五事件・1932 = 49歳：同下巻、「魯山人家蔵百選」「魯山人作陶百影」、

国際連盟脱退1933 = 50歳：{(銀茶寮)開業。「魯山人印譜」「魯山人小品画集」。志野焼製作開始。

二二六事件・1936 = 53歳：星岡茶寮を追われる。以後、北鎌倉の窯場で料理研究と作陶に没頭するかたわら、漆芸、金工、日本画にも手を染める。

**日中戦争始**・1937 = 54歳：東京海上創立50周年記念品を大量受注。

健保+総動員1938 = 55歳：きよと離婚。料理研究家熊田ムメ39と再々々婚。{(雅美生活)創刊。

大政翼賛会・1940 = 57歳：ムメと離婚し、新橋の芸妓と再々々々婚するが、

**日米開戦**・・・1941 = 58歳：

・・・1942 = 59歳：離婚し、以後独身。

**敗戦**・・・1945 = 62歳：戦災で、(星岡茶寮)焼失。

新憲法公布・1946 = 63歳：銀座に作品販売専門店(火土火土美房)を開設。

三大事件・・・1949 = 66歳：長男死去。

**独立回復**・・・1951 = 68歳：パリでの「現代日本陶芸展」に出品され、ピカソが注目。イサム・ノグチ夫妻が魯山人邸の一棟に入居。

メデー-事件・1952 = 69歳：生活誌(独歩)を創刊。

自衛隊発足・1954 = 71歳：渡米して各地で個展を開き、ピカソ・シャガールを訪問、国際的な名声を得、世界各国の料理を食する。

**55年体制始**・1955 = 72歳：人間国宝に指定されるも辞退。

毎年のように百貨店その他で、様々な切り口で魯山人の作品展が開催されるなか、

美智子妃・・・1959 = 76歳：肝硬変で没した。